

第 221 回 Brown Bag Lunch Seminar ご案内

ミャンマー「民主化」の明暗

～ 人権問題を中心とした民主化の現状と課題 ～

講師： 村主 道美 / 学習院大学法学部政治学科教授
田辺 寿夫 / ミャンマー研究者

日時： 2017 年 1 月 31 日 (火) 12 時 30 分 ～ 14 時 (開場 12 時)

会場： FASiD セミナールーム 定員： 40 名 (先着順・要申込み)

参加費： 500 円 (賛助会員 無料) 手話通訳： 配置可能*

2015年に実施されたミャンマー総選挙での野党NLD(国民民主連盟)の圧倒的な勝利は、同国が民主化に向け大きな一歩を踏み出したことを広く国際社会に印象づけました。アウン・サン・スー・チー氏の国政復帰や、民意が反映された選挙の実施は、民主化推進へ向けた大きな変化であったと言えます。このような変化を受けて、日本からは、ODAによる経済協力や民間企業による直接投資の急速な拡大など、ミャンマーのフロンティアとしての可能性に期待が高まっています。その一方で、同国西部ラカイン州では、依然としてイスラム系住民ロヒンギヤに対する深刻な人権侵害が報告されるなど、同国の民主化には「光と陰」が交差しています。

第221回BBLセミナーには、ミャンマーを研究されている二人の講師をお招き致します。講義では、主に2008年以降の移行期から今日にかけての民主化の進展について、政権と国軍および中央政府と少数民族との関係性に注目しながら、現状と課題を考察します。また、セミナー中、ミャンマーでの「ビジネスと人権」をめぐる課題、国内避難民キャンプ視察報告、日本国内のロヒンギヤ・コミュニティの取材報告等をお交することで、国際社会や日本とミャンマーの関わりについても考えます。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

【 講師略歴 】

村主 道美 氏 (むらぬし・みちみ)

東京大学法学部卒業、イェール大学博士号(国際政治学)。研究対象は安全保障、沖縄、ジェノサイド、東南アジア、南アジア等。

田辺 寿夫 氏 (たなべ・ひさお)

大阪外国語大学ビルマ語学科卒業、NHK 国際放送局にてビルマ語の番組制作に従事。その後、フリージャーナリストとしてビルマに関する取材、執筆活動を行っている。

【 開催案内・申込み・締切り 】 http://www.fasid.or.jp/seminar_info/144_list_detail.html

1月27日(金)正午迄に、上記 URL 内オンライン・フォームよりお申し込み下さい。(定員になり次第、締切らせて頂きます)

[*手話通訳が必要な方は、オンライン・フォーム送信に加えて下記事務局へ email により、その旨をお申込み下さい。通訳者を配置致します。] 昼食は、各自ご持参下さい。

Brown Bag Lunch Seminar 国際開発に関わるホット・ 이슈ーやこれまで注目を浴びてこなかった重要課題も取り上げ、援助の質の向上に向けてオープンな議論を行います。講師には国際開発の様々な分野で活躍されている研究者や実務者をお招きし、開発援助実務者、民間企業人、研究者、学生など幅広い立場の方々にご参加いただき、自由に意見交換する場を提供します。

一般財団法人 国際開発機構(FASiD) 国際開発分野の高度な人材育成を行うために設立された、財団法人国際開発高等教育機構をその前身としています。1990年に経団連(現日本経済団体連合会)協力の下に設立(外務省・文部科学省共管)。公益法人改革に対応し、2012年現在の組織へ移行。人材育成事業、調査・研究、コンサルティング事業、奨学金(国内外での博士の学位取得支援)、セミナー等を行なっています。

主催・お問い合わせ先

一般財団法人 国際開発機構(FASiD) 国際開発研究センター BBL 事務局: 服部 / 原田 / 片桐
〒106-0041 港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6 階 最寄駅: 日比谷線神谷町、大江戸線赤羽橋
Tel: 03-6809-1997 Fax: 03-6809-1387 Email: bbls@fasid.or.jp
Foundation for Advanced Studies on International Development
地図: http://www.fasid.or.jp/about/8_index_detail.shtml